



南雲堂



NAN'UN-DO

English Grammar

ビジュアル英文法

Copyright © 2015

by

Yuichi Kurokawa

All Rights Reserved

No part of this book may be reproduced in any form without written permission
from the author and Nan'un-do Co., Ltd.

はしがき

「英語ができるようになりたかったら、文法が大事」といわれます。しかし、そもそも、文法力とは何でしょうか。私は、英語を初めて習った中学1年生の頃から、ずっと疑問を抱いていました。そして、大人になってからも長年考え抜いて、ようやく結論に達しました。「英語をネイティブスピーカーと同じ速さと正確さで読めれば、十分に文法が身についたとってよい」と。

では、ネイティブスピーカーと同じ速さと正確さで英文を読めているかどうかは、どうすれば確認できるでしょうか。「目に見えるようにビジュアル化すればよい」というのが、私の行き着いた答えです。例えば、主語に○、動詞に□といった具合に、文法的な視点から英文に印をつけていくのです。これを、私は「マーキング」と読んでいます。

マークはたった14種類しかありません。つけ方のルールが明快ですので、誰でも必ずできるようになります。英語を苦手に行っている学生でも、手を動かして繰り返しマーキングしているうちに、コツが体で分かってきます。

文法は、頭で学ぶものではなく、体で文字通り、「身につける」ものです。そのためには、シンプル、かつ徹底的にビジュアル化するのが最適です。ビジュアル化の習慣づけによって、文法力がアップすることを心から願っています。

著者 黒川裕一

□□ 本書の効果的な使い方 □□

- ◆ 本書は、英文法の基本的事項を網羅する 20 のチャプターで構成されています。英文法全体を 5 段階に整理し、それに基づいて、第 1 段階から順次第 5 段階まで進むようになっていきます。
- ◆ 最も重要なのは、初めは間違えても構わないので、常に全速力でマーキングを行うことです。すると、手が文法を覚え、「考える前に答えが見える」ようになってきます。
- ◆ 「語数 ÷ 3 秒」で全てのマーキングを終え、全問正解すれば合格です。これを目指してがんばってください。（「語数 ÷ 3 秒」は、ネイティブスピーカーが自然な速度で英文を読んだときの所要時間です）
- ◆ 各チャプターは、解説と 4 種類のエクササイズから成っていますが、その中でも大切なのは、英文にマーキングを施す **STEP 1** ですので、最優先で取り組んでください。なお、そのチャプターまでにすでに学んだマークは全てつけるようにしてください。

目次

	はしがき	3
Chapter 1	主語動詞 ：英文法の第1段階(主語+動詞+ピリオド), 第2段階(文の種類まで)	8
Chapter 2	時制 ：単純時制, 進行時制, 完了時制	10
Chapter 3	助動詞 ：動詞にニュアンスを加える	12
Chapter 4	受動態 ：第2段階の4つのツールを自在に組み合わせるところまで	14
Chapter 5	冠詞 ：冠詞の基本から冠詞の位置と省略まで	16
Chapter 6	代名詞① ：総論, 人称代名詞, 指示代名詞	18
Chapter 7	代名詞② ：疑問代名詞, 不定代名詞	20
Chapter 8	準動詞① ：to 不定詞(未来分詞)～英文法の第3段階イントロ	22
Chapter 9	準動詞② ：現在分詞	24
Chapter 10	準動詞③ ：過去分詞	26
Chapter 11	準動詞④ ：原形不定詞(事実分詞)	28
Chapter 12	接続詞 ：等位接続詞と従属接続詞～英文法の第4段階イントロ	30
Chapter 13	比較 ：原級, 比較級, 最上級	32
Chapter 14	疑問詞節 ：if, whether によって導かれる節まで	34
Chapter 15	that 節 ：基本的な名詞節および副詞節から強調構文まで	36
Chapter 16	関係詞節① ：関係詞の基本的用法	38
Chapter 17	関係詞節② ：関係詞の応用	40
Chapter 18	省略と挿入 ：省略, 挿入, 倒置, 反語(修辞疑問)～英文法の第5段階イントロ	42
Chapter 19	仮定法 ：仮定法過去&過去完了, 仮定法現在&未来, 注意すべき構文	44
Chapter 20	時制の一致 ：主節と従属節の時制に関する原則および例外的な場合	46

マーキング一覧



	マーキング	実 例
1	主語に○をつける。	① We talk.
2	動詞に□をつける。	(私たちは話す)
3	準動詞に▽をつける。	① I want you to go.
4	準動詞の動作主に△をつける。	(私はあなたに行ってほしい)
5	等位接続詞にアンダーライン <u> </u> を引く。	① [I go] and [you stay].
6	等位接続詞で結ばれる節を大かっこ [] でくる。	(私は行き、あなたは残る) ※☆も必要。(9を参照)
7	従属節を導く語に二重線 <u> </u> でアンダーラインを引く。	① I skipped the English class yesterday
8	従属節を小かっこ () でくる。	(because I was tired).
9	主節の○□の上に☆をつける。	(疲れていたの、私は昨日英語のクラスをさぼった)
10	助動詞及び動詞の否定語に波線 <u> </u> を引く。	① We must talk.
11	先行詞と関係詞を弧 <u> </u> で結ぶ。	① I know a boy (whose father is a lawyer).
12	名詞と同格の that をカギ <u> </u> で結ぶ。	① I heard a rumor (that Jason wasn't in town anymore).
13	仮定法の助動詞に二重波線 <u> </u> を引く。	(If I had time), I would go with you.
14	仮定法の動詞に二重四角 □ のマークをつける。	(時間があつたら、あなたと一緒に行くのですが)





Chapter 1

主語動詞:

英文法の第1段階(主語+動詞+ピリオド), 第2段階(文の種類まで)

記号は **マーカー** を参照

- (A) **I am** a student. (私は学生だ)
- (B) **Do you study** English every day? (あなたは毎日英語を勉強しますか?)
- (C) **He doesn't like** Linda. (彼は Linda を好きではない)

1. 英文法の第1段階～○(主語)+□(動詞)+ピリオド

- (ア) ピリオドから次のピリオドまでを一文(ワンセンテンス)といいます。
- (イ) 「○(主語)+□(動詞)+ピリオド」, すなわち「ワンセンテンスに○と□が1つずつ」が, 英文法の第1のルールです。2つ以上になる場合には, 必ず何らかのサインを文中に入れて示します。(第4段階で学びますが, このサインを「接続詞」と呼びます)

2. 英文法の第2段階～□の操作

- (ア) ○(主語)と□(動詞)は英文の背骨です。よって, 第2段階では, □を操作して英文のニュアンスを変える方法を学びます。
- (イ) □の操作の仕方は, 全部で4種類あります。(文の種類, 時制, 助動詞, 態)
- (ウ) 文の種類には, 平叙文(肯定文と否定文), 疑問文, 命令文があります。
- (エ) □(動詞)には, 「be動詞(ある/である)」と「一般動詞(～する)」があります。このように分類するのは, 文の種類をかえる時の「形」が, be動詞だけ異なるからです。

	be 動詞	一般動詞	
肯定文	You are nice. (あなたは親切だ)	You go. (あなたは行く)	He goes. (彼は行く)
否定文	You are not nice.	You don't go.	He doesn't go.
疑問文	Are you nice?	Do you go?	Does he go?
命令文	Be nice.	Go.	Go.

- (オ) マーキング: 主語に○, 動詞に□をつけます。また, 動詞を操作するもの(否定語 not, 助動詞 do, does)には波線 を引きます。

 ✨ 語数: 43 語 🕒 目標: 15 秒 ()

STEP1 主語(○), 動詞(□), 否定語及び助動詞()を含む以下の例文にマーキングしましょう。

- ① I am Japanese. (私は日本人だ)
- ② You are Taiwanese. (あなたは台湾人だ)
- ③ We are not teachers. (私たちは教師ではない)
- ④ They are not very tall. (彼らはあまり背が高くない)
- ⑤ Is Jack tall? (Jack は背が高いですか?)
- ⑥ You jump very high. (あなたはとても高く跳ぶ)

- ⑦ She runs very fast. (彼女はとても速く走る)
- ⑧ They don't study at all. (彼らは全く勉強しない)
- ⑨ Her father doesn't smoke. (彼女の父はタバコを吸わない)
- ⑩ Does Ken go to church every Sunday? (Ken は毎週日曜に教会に行きますか?)

STEP 2 以下の空欄に単語を補充しましょう。

- ① 彼の母親は中国出身だ。
His mother () from China.
- ② 彼らはこの学校の生徒ではない。
They () not students of this school.
- ③ 私はしばしば早朝に散歩する。
I often () in the early morning.

STEP 3 単語を並べ替えて、日本語に合う英文をつくりましょう。

- ① 昼食の準備はもうできましたか? (yet, ready, for, you, are, lunch)

- ② Susan は夕食前に毎晩走りますか? (does, run, dinner, every, Susan, before, evening)

- ③ 私たちは、普段、家に最も近い公園では遊ばない。
(usually, don't, the, we, nearest, play, in, park, to, our, house)

STEP 4 主語と動詞に注意して、英作文しましょう。

- ① あなたのお兄さんは本当にそんなに背が低いのですか?
_____ really that short?
- ② 彼女はいつも本当のことをいうわけではない。
She _____ me the truth.
- ③ 彼は滅多にこんなに早く家へ帰って来ない。
He hardly ever _____.

今日のポイント

- I. 「○(主語)+□(動詞)+ピリオド」, すなわち「ワンセンテンスに○と□が1つずつ」が、英文法の第1のルール。[英文法の第1段階]
- II. □の操作の仕方は、全部で4種類(文の種類, 時制, 助動詞, 態)。[英文法の第2段階]
- III. □(動詞)には、be 動詞(ある/である)と一般動詞(～する)があります。このように分類するのは、文の種類をかえる時の「形」が be 動詞だけ異なるからです。



Chapter 2

時制:

単純時制, 進行時制, 完了時制

記号は **マーカー一覧** を参照

- (A) **I work** every Friday. (私は毎週金曜に働く)
- (B) **I am going** to school. (私は学校に行くところです)
- (C) **I have finished** my homework. (私は宿題が済んでいる)

1. 時制とは？

- (ア) 動詞の表す動作・作用の時間関係を「時制」といい、大別して「単純時制」と「複合時制」があります。
- (イ) 「単純時制」とは、1つの動詞(助動詞との組み合わせを含む)によって完結する時制であり、現在形, 過去形, 未来形からなります。
- (ウ) 「複合時制」とは、1つの動詞に分詞(準動詞)を組み合わせることによって初めて成り立つ時制であり、「進行形」「完了形」からなります。

2. 進行形

- (ア) 意味:「進行中の動作(今~している)」を核に、継続, 習慣, 近未来などを表します。上記の例文(B)は、「私は(今)学校に行くところです」と、「今この瞬間に進行中の動作」を表しています。
- (イ) 形: **be** 動詞の現在形(am, are, is) + 現在分詞(動詞の原型に **ing** をつける)
- (ウ) マーキング: **○□**に加えて、現在分詞に **▽** をつけましょう。(現在分詞については、「準動詞」の項で詳しく学びます)

3. 完了形

- (ア) 意味:「過去のある時点での行為の結果」を表します。上記の例文(C)は、「(過去のある時点で)宿題が終わった」ではなく、「過去のある時点で宿題を終わらせた結果, 今はもう済んでいる」ということを表しています。
- (イ) 形: **have** 動詞の現在形(have, has) + 過去分詞(動詞の原型に **ed** をつける, もしくは不規則変化)
- (ウ) マーキング: **○□**に加えて、過去分詞に **▽** をつけましょう。

 ✿ 語数: 56 語 🕒 目標: 19 秒 ()

STEP1 現在分詞及び過去分詞(▽)を含む、様々な時制の以下の例文にマーキングしましょう。
 (これまでに学んだマークは全てマーキングしてください)

- ① My grandfather comes this afternoon. (私の祖父は今日の午後来る)
- ② Our train leaves in ten minutes. (私たちの電車は10分で発つ)
- ③ You are being cruel. (あなた[の言動]は残酷です)
- ④ They are always playing games. (彼らはずっとゲームで遊んでばかりいる)
- ⑤ She is still staying here. (彼女はまだここにとどまっている)
- ⑥ I am going to Mt. Aso again next week. (来週, 阿蘇山にまた行く予定です)

- ⑦ They are watching TV. (彼らはテレビを観ているところです)
- ⑧ He has been to Osaka. (彼は大阪に行ったことがあります)
- ⑨ They have moved out. (彼らは、引っ越してしまって、もうここにはいません)
- ⑩ We have been waiting for her all afternoon. (私たちは、彼女を午後中待ち続けています)

STEP2 以下の空欄に単語を補充しましょう。

- ① 彼の飛行機は1時間で到着する。

His plane () in an hour.

- ② 彼女はいつも本を読んでばかりいる。

She is always () books.

- ③ 彼らはその映画を観たことがある。

They have () that film before.

STEP3 単語を並べ替えて、日本語に合う英文をつくりましょう。

- ① 私の母は毎朝6時に起きる。(up, six, every, my, at, mother, gets, morning)
-

- ② 彼らはまだ寝ている。(bed, they, in, still, are, sleeping)
-

- ③ 彼らは1日中話し続けている。
(talking, have, all, early, day, they, been, since, morning)
-

STEP4 時制に注意して、英作文しましょう。

- ① 私はまさに家を出ようとするところだ。

_____ out of the house.

- ② 私はこれを食べたことがある。

_____ something just like this.

- ③ 私は英語を3時間勉強し続けている。

_____ English for three hours.

今日のポイント

- I. 「単純時制」とは、1つの動詞(助動詞との組み合わせを含む)によって完結する時制であり、現在形、過去形、未来形からなります。
- II. 「複合時制」とは、1つの動詞に分詞(準動詞)を組み合わせることによって初めて成り立つ時制であり、「進行形」「完了形」からなります。
- III. 「進行形」は、「進行中の動作(今~している)」を核に、継続、習慣、近未来などを表します。
- IV. 「完了形」は、「過去のある時点での行為の結果」を表します。